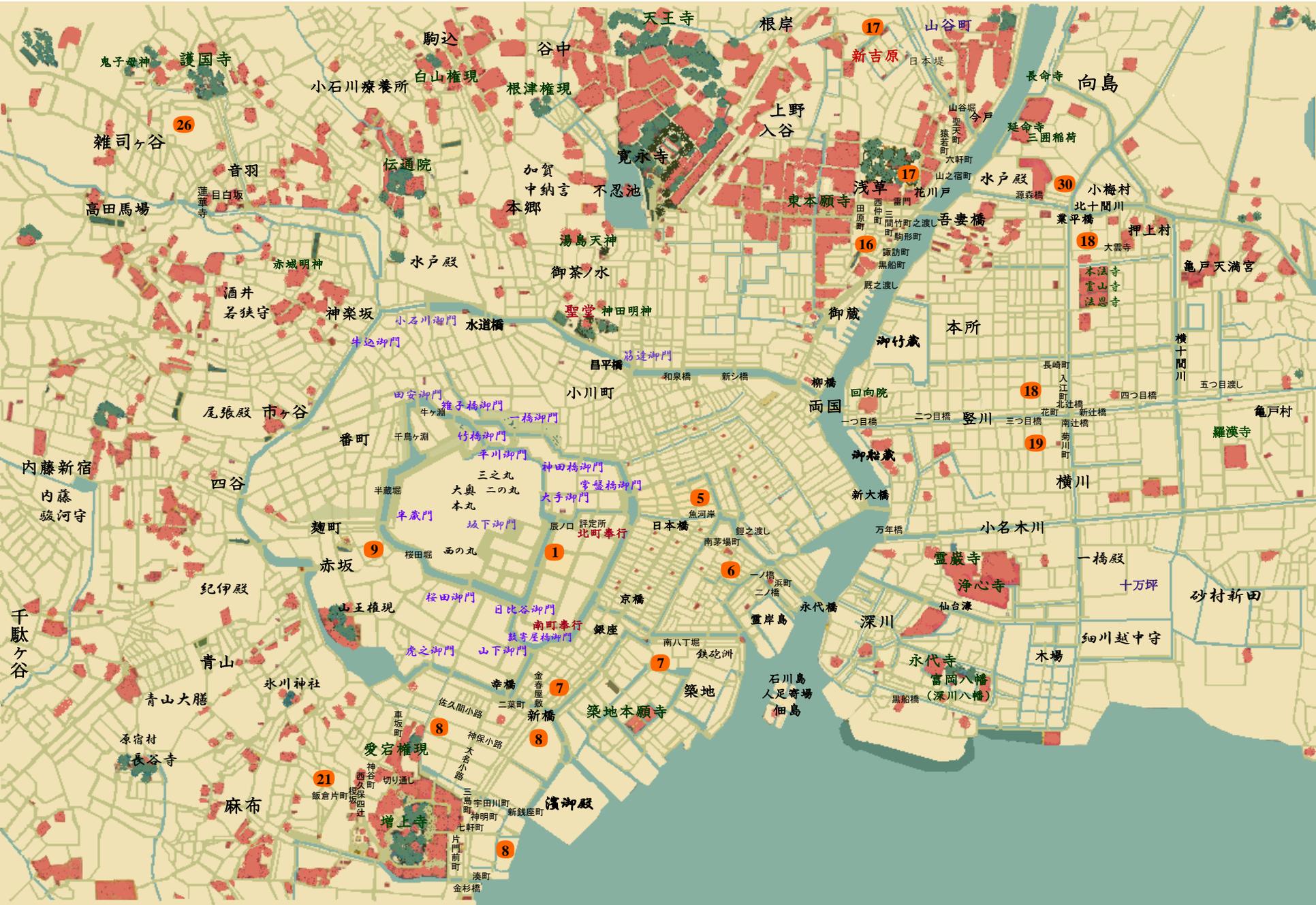


英泰伯佐 刃凶 殺一 · 一期 6 命密



かなすぎそうざぶろう
金杉惣三郎（浪人 元相良藩江戸留守居役） — しの（妻）、結衣（娘）

あやめ（亡き妻）、清之助（息子）、みわ（娘）

てらむらしげざゑもん
寺村重左エ門（亡き元江戸留守居役 しのの父）

せいぞう うおつね や おきゆう にいじまや
長屋：勢三（豆腐屋）、魚常（魚屋）、八百久（八百屋）、新島屋（乾物屋）

りゆうぞう うたもじ
柳蔵（旅支度東海屋の番頭）、歌文字（三味線の師匠）

こうじんやきはち
荒神屋喜八（火事始末御用）

まつぞう
松造（小頭） — お由（元ととやの女中）

なかじ わしち とみきち しんた ちよまつ
人足：仲次、和七、富吉、新太、千代松

かんあみぜんべえ じいちろう ちゅうぞう
冠阿弥膳兵衛（芝神明の札差） — さき（女房）、治一郎（息子）、忠蔵（番頭）

とうごろう きょう
登五郎（芝蔭若頭） — お杏（女房 冠阿弥の娘）、半次郎（息子）

たつきち とび
辰吉（源助町蔭の総頭取） — つや（女房）

さんじ しょうへい まとい
三次（蔭）、昇平（蔭）、新太郎（纏持ち）、弘吉

いわみてつたろうなりむね
石見鍔太郎成宗（一刀流道場主）

よねつかん べえ ひたち あまぞう
米津寛兵衛（常陸鹿島 石見の師）、雨三（庭番）、かね（女中）

けいあん
溪晏（八丁堀の医者）

げんしち
源七（ととや）、つね（少女）

にすけ
仁助（蕎麦屋台）

もくじゅう
木十（新銭座町の船頭）

けんじろう たじまいずし
笹村頭次郎（但馬出石藩江戸留守居役）

くらじろう たじまいずし とうじゅうろう のえ
山口鞍次郎（但馬出石藩 西村桐十郎の友） — 野衣（妻）

徳川綱吉（五代将軍）→ 家宣（六代将軍）→ 家継（七代将軍）

→ 吉宗（八代将軍 紀州藩主光貞の四男 生母は由利・浄円院）

有馬兵庫守氏倫（御用取次）、京極長門（無外流劍客）

加納近江守久通（御用取次）

筒井肥前守藤綱（大目付）、笹間平内（用人）

大岡越前守忠助（南町奉行）、織田朝七（内与力）

西村桐十郎（北町同心→南町同心）

花火の房之助（岡っ引）— 静香（女房 踊り手習い師匠）

三吉（下っ引）、三見（下っ引）、政七（下っ引）、信太郎（下っ引）

猪之吉（下っ引）、義次郎（下っ引）、義三（下っ引）

熊吉（下っ引）—うめ（孫娘→女中）

斎木高玖（豊後相良藩主）— 麻紀（正室 紀州新宮藩息女）

光紘（息子）、加奈（娘）、刀祢（麻紀の方の乳母）

清香（側室 茨城三太夫の娘）、波女（老女）、誉吉郎（かたびん）

古田孫作（江戸家老）

庵原三右衛門（江戸留守居役）、忠紀（父）

九重馬之助（御番方）、草野忠乗（近習）

佐々木治五郎（使い方）、園田勝之丞（御使番）

岩松（小者）、駿太朗（小者）、佐吉（小者）

米谷鎌吉（国許勘定奉行）、米谷甚左（亡き父）

斎木丹波（高茂の異母兄 津以領）、五郎丸（嫡男 久胤）

飯田国春（国許槍奉行方）

鈴木三郎助（用人）

釜田一郎兵衛（タイ捨流劍術家）、九重馬之助（五郎丸の手下）

日下左近（旗奉行家→斎木丹波の家臣）、神次郎（甥）

栗原孫之丞（大阪屋敷算用方）

糸田継之助（大阪屋敷仕入方）

古矢丹兵衛（凶賊 不逞浪人の頭）、猿原郡太夫

棺桶の為三郎（紫紺の襟巻）、市橋茂光（浪人）